

「嵐山の桜」(『京阪土産名所圖画』より)



『京阪土産名所圖画』(嵐山より三軒家を望む)

「[京阪土産名所圖画](#)」は明治 28 年に発行された、京都と大阪の名所を 10 か所ずつ描いた摺り物です。作者は林基春(はやしもとはる)、大阪で活躍した浮世絵師で、団扇絵や風景画を多く描いています。

京都の名所は八坂神社や北野天満宮、金閣寺などの社寺が描かれ、昔から有名であったことがわかります。名所の中にはこの年に岡崎で開催されていた第 4 回内国勸業博覧会の画もあり、この博覧会開催に合わせて発行された資料だと思われます。

この画では渡月橋を上流から眺めた構図で小倉山を左手に、右手には川沿いに桜を描いています。また、遠くには比叡山の姿も描かれています。

資料ガイド No.15

(「総合資料館だより」 No.187(2016 年 4 月 1 日発行)
より転載)

(2016 年 4 月 1 日公開)